

タキイ種苗株式会社

〒600-8686京都市下京区梅小路 2020.7.9

『プロが教える家庭菜園のコツ』シリーズ《VOL.7》 この秋、家庭菜園ライフ始めませんか?秋の栽培は"守る"が大切! 「適期を守る」「虫から守る」「愛情込めて見守る」

タキイ種苗は、秋の家庭菜園シーズンに向け、栽培のポイントをお伝えすることで家庭菜園ユーザー を応援します。

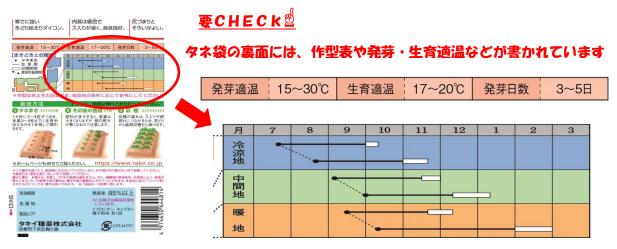
秋は気候が涼しくなり動きやすくなるので、家庭菜園にぴったりの季節です。ただし、秋まき野菜は春まき野菜に比べて、タネを播ける期間が限られているので、「適期を守ること」が大切です。また、家庭菜園の失敗に多い「虫の発生にも注意」しなければいけません。

今回は、秋から野菜を栽培する時のポイントをお伝えします。ぜひ参考にしてみてください。

ポイント①栽培適期を守る

「秋の1日、春の7日」ということわざは、秋の農作業で1日遅れると、春に7日作業が遅れるのと同じだという意味です。タネを播く、苗を植え付ける、収穫する、それぞれの作業に適した期間があります。まだ暑さが残る時期にタネを播くと、発芽しにくくなりますし、適期よりも遅く播くと、気温が低下して生育が進まず、収穫が遅れてしまう場合があります。

パッケージの裏面にある"作型表"などを参考にしながら、必ず栽培適期を守るようにしましょう。



ポイント②虫から野菜を守る

涼しくなっても虫は美味しい野菜を狙ってやってきます! タキイ種苗が2019年に調査した「家庭菜園で失敗した原因」の結果によよると、虫の発生が1位でした。

●家庭菜園で失敗した原因 <家庭菜園での失敗経験あり (N=214) >

※複数回答、トップ5

1位	虫が発生した	38.8%
2位	自分の管理が悪かった	38.3%
3位	土が悪かった	31.8%
4位	肥料が悪かった	20.6%
5位	水をあげすぎていた	19.2%

虫を防ぐには、タネ播きした後すぐに防虫ネットをかけるのがおすすめです。その際は、横から 虫が侵入しないよう、洗濯ばさみなどでプランターとネットをしっかり止めることが大切です! ネットを外すタイミングは、野菜がネットの天井に届くくらい生長した時か、収穫の1週間前くらいが目 安です。ネットをかけない場合は、虫を見つけたら手で捕殺するか、様子を見ながらスプレータイプの殺虫剤などを使用して早めの防除を心がけましょう。







防虫ネットをかける

秋に育てる野菜でおすすめは、生育期間が1~2カ月程度で、初心者の方にも育てやすい コマツナ、ホウレンソウ、リーフレタス、二十日ダイコンなどです。

ポイント3愛情を込めて見守る

ベランダや庭先でのプランター菜園の最大のメリットは、いつでもすぐに見に行けるので、虫に食べられているなとか、葉が弱ってきたし肥料を与えようなど、野菜の状態を把握できることです。食卓に並ぶその日まで、しっかり愛情を込めて見守りましょう!

<u>☆タキイおすすめ品種</u>



アントシアニンを多く含む赤紫ミズナでサラ ダの彩りとしても人気!



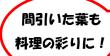
草丈 10~15cm のベビーリーフに最適なミックス 種。苦みが少なく、口当たりがよい。

リーフレタス『ガーデンベビー』



生育が早くて作りやすいテリのある赤色で、内 部は白色。サラダや浅漬けにもぴったり!

栽培途中は、生育が悪い葉や、葉が密になってあたらないように間引きをします。間引いた葉もサラダなどにぜひ活用してください。3 つの「守る」を心がけて、今年の秋は家庭菜園ライフを満喫してください♪





※『プロが教える家庭菜園のコツ』シリーズ

Vol 1『初心者にオススメ セルトレイ栽培』(2018.3.19)

Vol 2『種まき失敗あるある』(2018.3.27)

Vol 3『土へのこだわりが成功への近道』(2018.4.24)

Vol 4『ミニトマト栽培のポイント』(2019.4.4)

Vol 5『キュウリ栽培のポイント』(2019.5.23)

Vol 6『とうもろこし栽培のポイント』(2019.7.24)